

# 第27回舞鶴柔道選手権大会について

舞鶴柔道連盟  
会長 島山 一男

寒中の候、新たな年を迎え各先生おかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本連盟の行事に際し、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、このたび第27回舞鶴柔道選手権大会を開催するにあたり、新型コロナ感染防止による大会会場への入場制限に伴い規模を縮小し、無観客大会として開催する運びとなりました。参加範囲を京都府内の団体のみとし、案内をさせていただきます。

## 大会要項

- 1 日時 令和5年3月5日(日)  
午前8時30分開場 午前9時30分開始
- 2 会場 舞鶴文化公園体育館2F 柔道場 (TEL 0773-77-1850)  
舞鶴市上安久420番地 (日星高校裏)
- 3 主催 舞鶴柔道連盟
- 4 後援 京都府柔道連盟、舞鶴市教育委員会、舞鶴市スポーツ協会、京都新聞社
- 5 申込先 〒624-0909  
京都府舞鶴市天台新町65 大田 正夫 宛  
(必ず封筒表に「舞鶴柔道選手権大会申込書在中」とご記入ください。)
- 6 申込締切 **令和5年2月10日(金) 必着**  
(郵送のみ受け付けます。申込期限以降は受付いたしませんのでご注意ください。)

### 5 試合要項

#### (1) 出場資格

- ・令和4年度全日本柔道連盟に登録している者に限る。
- ・個人情報(氏名・所属団体等)をパンフレット、新聞、web上にて使用することに同意する者  
(大会の申し込みをされた時点で同意したものとみなします。)
- ・高校一般及び、中学生ともに団体戦の出場チーム数の制限はしない。
- ・高校一般の部において年齢・段位は不問とする。

(2) 試合方式

- ・団体戦 高校一般の部・中学生の部ともに男女混合のトーナメント戦とし、参加チームが4チーム以下の場合はリーグ戦とする。
- ・個人戦 高校一般 男子 有段の部・段外の部 それぞれ無差別  
高校一般 女子 有段の部・段外の部 それぞれ無差別  
すべての階級においてトーナメント戦とし、参加者が4名以下の場合はリーグ戦とする。  
中学生の個人戦は行わない。

(3) 団体戦チーム編成

1チームにつき監督1名、選手5名、補欠2名の計8名とし、**中堅は女子選手**とする。

(4) 試合方法

- ・試合は、国際柔道連盟試合審判規定による。(中学生の部は、少年大会特別規定による。)  
試合時間は、団体戦、個人戦とも3分間とする。
- ・団体戦の判定基準は、「技あり」以上とし、勝数、得点と同数の場合、代表戦を1回行う。代表戦の試合時間は3分間とし、勝敗が決しない場合は僅差判定により勝敗を決する。
- ・個人戦の判定基準は、「技あり」「指導差2」以上とし、差がない場合はGSを2分間行う。それでも差がない場合は僅差判定で勝敗を決す。

(5) 表彰

団体戦、個人戦とも優勝、準優勝、第3位とする。

(3位決定戦は行わない。)

6 負傷 試合中の負傷に対する応急手当は行いますが、それ以外の処置・責任は各団体でお願いします。また、本大会中の負傷に対する傷害保険に加入しておりますので、保険手続に際し団体・保護者に連絡する場合があります。

7 参加料 団体戦1チーム 2,000円 ・個人戦1名 1,000円 (高校一般の部のみ)  
・振込のみの受付とし、当日支払いはできません。  
・当日欠席の場合の返金はいたしませんのでご了承ください。

8 その他  
・大会会場の新型コロナ感染防止による入場制限に伴い、**無観客大会**とします。  
・全ての入場者は健康記録表兼同意書に記入し、大会当日2F受付に提出してください。  
・大会会場へ入場する際、検温及び手指消毒のご協力をお願いします。  
・各団体1名以上の審判員のご協力をお願いします。  
・申込選手の変更及び当日参加は認めません。  
・開会式及び閉会式は行いません。9時30分より、大会会長挨拶、審判長注意等を放送のみで行います。  
・大会当日、1F剣道場を控え室用に開放しておりますのでご利用ください。

## 9 備考

(1) 脳震盪の対応について選手及び指導者は下記事項を遵守して下さい。

- (a) 大会前1カ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ることが必要です。
- (b) 大会中脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することはできません。(なお、至急専門医の診察及び検査を受けてください。)
- (c) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、再開の許可を得ることが必要です。
- (d) 当該選手の指導者は必要に応じて大会事務局及び関係機関(柔道連盟等)に対し書面により事故報告を提出してください。

(2) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について

発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関に置いて的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場を禁止する。ただし、2週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認める。

10 問合せ 舞鶴柔道連盟 大会運営部 大田 正夫

090-9613-0055

(携帯ショートメールでも差支えありません。)

## お願い

- ・本大会は、身体的にも、精神的にも発育・発達途上の中学校生徒も出場する大会であることを常に念頭においていただき、特に危険防止について考慮してください。また、礼法を正しく行われることはもとより、姿勢・組み方についても御配慮、御指導をよろしくお願いします。